

京 都 府 電 気 事 業 会 計

1 令和7年度京都府電気事業会計予算実施計画

収 益 の 収 入 及 び 支 出

収 入

款	項	目	予 定 額	備 考
1	電気事業収益		508,935	
	1	営業収益	486,988	
		1	水力発電電力料	電気料金
	2	財務収益	395	
		1	受取利息	預金利息
	3	事業外収益	21,552	
		1	消費税及び地方消費税還付金	
		2	雑収益	行政財産使用料等

支 出

款	項	目	予 定 額	備 考
1	電気事業費用		479,135	
	1	営業費用	477,140	
		1	水力発電費	事業所職員給与費 62,648 千円 事業所営業費 348,489 千円
		2	一般管理費	本庁職員給与費 57,496 千円 本庁営業費 8,507 千円
	2	財務費用	994	
		1	支払利息	企業債利息
	3	特別損失	1	
		1	過年度損益修正損	
	4	予備費	1,000	
		1	予備費	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

款	項	目	予 定 額	備 考
1	資本的収入		377,001	
	1	企業債	377,000	
		1	企業債	377,000
	2	固定資産売却代金	1	
		1	固定資産売却代金	1

支 出

款	項	目	予 定 額	備 考
1	資本的支出		439,873	
	1	建設改良費	415,000	
		1	水力発電施設整備費	415,000
			諸施設費	415,000
	2	企業債償還金	23,873	
		1	企業債償還金	23,873
	3	予備費	1,000	
		1	予備費	1,000
				工事費

2 令和7年度京都府電気事業会計予定キャッシュ・フロー計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位：円)

(1) 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	△ 7,927,000
減価償却費	64,420,000
固定資産除却費	1,000
引当金の増減額 (△は減少)	25,790,000
受取利息	△ 395,000
支払利息	994,000
未収金の増減額 (△は増加)	1,759,000
未払金の増減額 (△は減少)	<u>△ 22,241,000</u>
小計	62,401,000
利息の受取額	395,000
利息の支払額	<u>△ 994,000</u>
業務活動によるキャッシュ・フロー	61,802,000
(2) 投資活動によるキャッシュ・フロー	
電気事業固定資産の取得による支出	△ 378,272,727
電気事業固定資産の売却による収入	<u>1,000</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 378,271,727
(3) 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	377,000,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	<u>△ 23,872,560</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	353,127,440
資金増加額 (又は減少額)	36,657,713
資金期首残高	<u>825,026,676</u>
資金期末残高	<u>861,684,389</u>

3 給与費明細書

(1) 総括

区分	職員数		給	
	特別職	一般職	報酬	給料
本年度	0	12 (0)	8,345	47,878
前年度	0	11 (0)	5,387	41,432
比較	0	1 (0)	2,958	6,446

(注) ( )内は、短時間勤務職員で外書きである。

与費		法定福利費	合計
手当	計		
44,770	100,993	19,151	120,144
40,093	86,912	16,437	103,349
4,677	14,081	2,714	16,795

手当の内訳	区分	扶養手当	地域手当	住居手当
	本年度	1,272	3,302	1,782
	前年度	954	3,430	2,100
	比較	318	△ 128	△ 318
	区分	期末手当	勤勉手当	退職給与金
	本年度	13,646	12,361	5,514
	前年度	10,985	10,123	5,793
	比較	2,661	2,238	△ 279

通勤手当	単身赴任手当	特殊勤務手当	時間外勤務手当	管理職手当
2,842	816	37	1,632	1,566
3,760	0	37	1,345	1,566
△ 918	816	0	287	0

ア 常勤の職員及び短時間勤務職員(会計年度任用職員を除く)

区 分	職 員 数		給 与	
	特 別 職	一 般 職	報 酬	給 料
本 年 度	0	12 (0)	0	47,878
前 年 度	0	11 (0)	0	41,432
比 較	0	1 (0)	0	6,446

(注1) この表は、給料をもって支弁される「イ会計年度任用職員」以外の一般職の職員(事業費支弁に係る職員を含む。)で予算の積算の基礎  
(注2) ( )内は、短時間勤務職員で外書きである。

手 当 の 内 訳	区 分	扶 養 手 当	地 域 手 当	住 居 手 当
	本 年 度	1,272	3,302	1,782
	前 年 度	954	3,430	2,100
	比 較	318	△ 128	△ 318
	区 分	期 末 手 当	勤 勉 手 当	退 職 給 与 金
	本 年 度	11,997	10,976	5,514
	前 年 度	9,967	9,271	5,793
	比 較	2,030	1,705	△ 279

イ 会計年度任用職員

区 分	給 与 費		
	報 酬	期 末 手 当	勤 勉 手 当
本 年 度	8,345	1,649	1,385
前 年 度	5,387	1,018	852
比 較	2,958	631	533

(注) この表は、報酬をもって支弁される会計年度任用職員(事業費支弁に係る職員を含む。)で予算の積算の基礎となったものである。

与 手 当	費 計	法定福利費	合 計
		41,736	89,614
38,223	79,655	15,480	95,135
3,513	9,959	2,166	12,125

となったものである。

通 勤 手 当	単 身 赴 任 手 当	特 殊 勤 務 手 当	時 間 外 勤 務 手 当	管 理 職 手 当
2,842	816	37	1,632	1,566
3,760	0	37	1,345	1,566
△ 918	816	0	287	0

計	法定福利費	合 計
11,379	1,505	12,884
7,257	957	8,214
4,122	548	4,670

(2) 給料及び手当の増減額の明細

区 分	増 減 額	増 減 事 由 別 内 訳		説 明
給 料	6,446	1 給与改定に伴う増減分	1,467	$\left[ \begin{array}{c} \text{前年度当初予算} \\ \text{計上給料額} \end{array} \right] \times \left[ \begin{array}{c} \text{給料の} \\ \text{改定率} \end{array} \right]$ $41,432 \times 0.0354$
		2 昇給に伴う増加分	90	$\left[ \begin{array}{c} \text{平均昇給} \\ \text{間差額} \end{array} \right] \times \left[ \begin{array}{c} \text{昇給に係る} \\ \text{職員数} \end{array} \right] \times 3$ $3,000 \times 10 \times 3$
		3 その他の増減分	4,889	職員の異動等に伴うもの
手 当	4,677	1 制度改正に伴う増減分	718	扶養手当           △ 60 千円 通勤手当           386 千円 期末手当           190 千円 勤勉手当           202 千円
		2 その他の増減分	3,959	給与改定及び職員の異動等に伴うもの

備 考			
給与改定の状況			
前 年 度	給 料 の 改 定 率	3.54%	
	給 与 改 定 実 施 時 期	令和6年4月1日	
平均昇給率      0.92%			
職員の異動状況			
区 分	現に在職する職員数	そ の 他	計
本 年 度	12 (0)	0 (0)	12 (0)
前 年 度	11 (0)	0 (0)	11 (0)
増 減	1 (0)	0 (0)	1 (0)
(注) ( )内は、短時間勤務職員で外書きである。			

(3) 給料及び手当の状況

ア 職員1人当たりの給与

区 分		行 政 職
令和6年10月1日 現 在	平均給料月額	326,922 <sup>円</sup>
	平均給与月額	427,333 <sup>円</sup>
	平均年齢	42.9 <sup>歳</sup>
令和5年10月1日 現 在	平均給料月額	315,078 <sup>円</sup>
	平均給与月額	417,800 <sup>円</sup>
	平均年齢	40.1 <sup>歳</sup>

イ 初任給

区 分		行 政 職
高 校 卒		197,000 <sup>円</sup>
大 学 卒		228,500 <sup>円</sup>
一般会計の制度	高 校 卒	197,000 <sup>円</sup>
	大 学 卒	228,500 <sup>円</sup>

ウ 級別職員数

区 分		行政職	
		職員数	構成比
令和6年10月1日現在	1 級	2 (0)	16.7 (0)
	2 級	2 (0)	16.7 (0)
	3 級	2 (0)	16.7 (0)
	4 級	3 (0)	25.0 (0)
	5 級	1 (0)	8.3 (0)
	6 級	1 (0)	8.3 (0)
	7 級	1 (0)	8.3 (0)
	8 級	0 (0)	0 (0)
	9 級	0 (0)	0 (0)
	10 級	0 (0)	0 (0)
	計	12 (0)	100.0 (0)
令和5年10月1日現在	1 級	2 (0)	18.2 (0)
	2 級	4 (0)	36.3 (0)
	3 級	0 (0)	0 (0)
	4 級	1 (0)	9.1 (0)
	5 級	2 (0)	18.2 (0)
	6 級	1 (0)	9.1 (0)
	7 級	1 (0)	9.1 (0)
	8 級	0 (0)	0 (0)

区 分		行 政 職	
		職員数	構成比
令和5年10月1日現在	9 級	0 (0)	0 (0)
	10 級	0 (0)	0 (0)
	計	11 (0)	100.0 (0)

(注) ( )内は、短時間勤務職員で外書きである。

エ 特殊勤務手当

区 分	全 職 種	行 政 職
給料総額に対する比率	0.1	0.1
支給対象職員の比率 (令和6年10月1日現在)	25.0	25.0
特殊勤務手当の名称	危険作業手当	

オ 期末・勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支 給 率 計
	6 月	12 月	
本 年 度	2.30 (1.2125)	2.30 (1.2125)	4.60 (2.425)
前 年 度	2.25 (1.1875)	2.25 (1.1875)	4.50 (2.375)
一 般 会 計 の 制 度	2.30 (1.2125)	2.30 (1.2125)	4.60 (2.425)

(注) ( )内は、再任用職員である。

職制上の段階、職務の 級等による加算措置	備 考
有	
有	
有	

カ 定年退職及び勲奨退職に係る退職手当

区 分	20 年 勤続の者	25 年 勤続の者	35 年 勤続の者	最高限度
支 給 率 等	24.586875	33.27075	47.709	47.709
一 般 会 計 の 制 度 ( 支 給 率 等 )	24.586875	33.27075	47.709	47.709

その他の加算措置等
定年前早期退職特例措置 (2%~20%加算)
定年前早期退職特例措置 (2%~20%加算)



キ その他の手当

区 分	一般会計の制度との異同	差 異 の 主 な 内 容
扶 養 手 当	同 じ	
地 域 手 当	同 じ	
住 居 手 当	同 じ	
通 勤 手 当	同 じ	

4 債務負担行為に関する調書

事 項	限 度 額 (千円)	令和6年度末までの支払義務発生（見込）額	
		期 間	金 額 (千円)
令和7年度水力発電施設整備費	165,000	—	0

令和7年度以降の支払義務発生予定額		左 の 財 源 内 訳			
期 間	金 額 (千円)	企業債 (千円)	出資金 (千円)	国庫補助金 (千円)	損益勘定留保資金 (千円)
令和7年度 ～令和8年度	165,000	150,000	0	0	15,000

5 令和6年度京都府電気事業予定損益計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

勘定科目	金額		
	円	円	円
1 営業収益			
(1) 水力発電電力料	506,579,000	506,579,000	
2 営業費用			
(1) 水力発電費	411,762,000		
(2) 一般管理費	52,693,000	464,455,000	
営業利益			42,124,000
3 財務収益			
(1) 受取利息	4,000	4,000	
4 事業外収益			
(1) 雑収益	5,628,000	5,628,000	
5 財務費用			
(1) 支払利息	1,127,000	1,127,000	
6 予備費			
(1) 予備費	1,000,000	1,000,000	3,505,000
経常利益			45,629,000
7 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	1,000	1,000	1,000
当年度純利益			45,628,000
前年度繰越欠損金			417,760,138
当年度未処理欠損金			372,132,138

6 令和6年度京都府電気事業予定貸借対照表

(令和7年3月31日)

勘定科目	金額		
	円	円	円
資産の部（借方）			
1 固定資産			
(1) 電気事業固定資産			
ア水力発電設備	3,172,045,777		
減価償却累計額	△ 2,424,614,847	747,430,930	
電気事業固定資産合計			747,430,930
(2) 固定資産仮勘定			
ア水力発電施設改良建設仮勘定		33,149,273	
固定資産仮勘定合計			33,149,273
固定資産合計			780,580,203
2 流動資産			
(1) 現金・預金		825,026,676	
(2) 未収金		154,540,000	
(3) その他流動資産		3,000,000	
流動資産合計			982,566,676
資産合計			1,763,146,879
負債の部（貸方）			
3 固定負債			
(1) 企業債		144,234,143	
(2) 引当金		120,083,947	
固定負債合計			264,318,090
4 流動負債			
(1) 企業債		23,872,560	
(2) 未払金		22,241,000	
(3) 引当金		7,330,000	
(4) その他流動負債		3,437,759	
流動負債合計			56,881,319
負債合計			321,199,409
資本の部（貸方）			
5 資本金			1,814,079,608

## 7 令和7年度京都府電気事業予定貸借対照表

(令和8年3月31日)

勘定科目	金額		
	円	円	円
6 剰余金			
(1) 利益剰余金			
ア当年度末処分利益剰余金	△ 372,132,138		
利益剰余金合計		△ 372,132,138	
剰余金合計			△ 372,132,138
資本合計			1,441,947,470
負債資本合計			1,763,146,879

勘定科目	金額		
	円	円	円
資産の部（借方）			
1 固定資産			
(1) 電気事業固定資産			
ア水力発電設備	3,583,465,777		
減価償却累計額	△ 2,489,034,847	1,094,430,930	
電気事業固定資産合計			1,094,430,930
固定資産合計			1,094,430,930
2 流動資産			
(1) 現金・預金		861,684,389	
(2) 未収金		152,781,000	
(3) その他流動資産		3,000,000	
流動資産合計			1,017,465,389
資産合計			2,111,896,319
負債の部（貸方）			
3 固定負債			
(1) 企業債		459,659,563	
(2) 引当金		144,567,947	
固定負債合計			604,227,510
4 流動負債			
(1) 企業債		61,574,580	
(2) 引当金		8,636,000	
(3) その他流動負債		3,437,759	
流動負債合計			73,648,339
負債合計			677,875,849
資本の部（貸方）			
5 資本金			1,814,079,608
6 剰余金			
(1) 利益剰余金			
ア当年度末処分利益剰余金	△ 380,059,138		
利益剰余金合計		△ 380,059,138	

勘定科目	金額		
剰余金合計			△ 380,059,138
資本合計			1,434,020,470
負債資本合計			2,111,896,319

注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

ア 有形固定資産

(ア) 減価償却の方法

定額法

(イ) 主な耐用年数

建物 15～38年

水路 57年

機械装置 22年

諸装置 22年

備品 5～15年

イ 無形固定資産

(ア) 減価償却の方法

定額法

(イ) 主な耐用年数

ダム使用权 55年

(2) 引当金の計上方法

「京都府公営企業引当金取扱要領」に基づき計上している。

ア 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。

イ 特別修繕引当金

水車発電機オーバーホールに係る支出に備えるため、支出見込額のうち前回のオーバーホールの翌年から当年度末までの期間に対応する額を計上している。

ウ 修繕引当金

平成25年度末以前に計上されていた修繕引当金を計上している。

エ 賞与引当金及び法定福利費引当金

職員の期末・勤勉手当の支給及びこれに係る法定福利費の支払いに備えるため、当年度末における支給（支払）見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4箇月分）を計上している。

オ 貸倒引当金

予定貸借対照表に未収金の計上があるが、債務者が限定され、かつ、これまで貸倒実績もないため、貸倒引当金を計上していない。

(3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

2 リース契約により使用する固定資産

リース会計に係る特例措置

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

3 その他の注記

引当金の取り崩し

(1) 退職給付引当金の取り崩し

令和6年度において、退職手当として6,082千円を支給するため、退職給付引当金を取り崩し。

(2) 賞与引当金及び法定福利費引当金の取り崩し

令和6年度において、賞与引当金及び法定福利費引当金から7,190千円を取り崩す。

令和7年度において、賞与引当金及び法定福利費引当金から7,330千円を取り崩す。